

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	信濃川治水歴史巡り	事業経緯	継 続	実施体制	協 力	担当所属	新潟支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

越後平野を貫流する信濃川は昔から洪水を繰り返し、その被害の痕跡は今も地域に残っている。また、信濃川下流域には、川と共存するための智恵や工夫の様子、治水を志した先人たちの業績を記した史跡等も多く残されている。こうした信濃川の洪水や治水に関する史跡等をめぐり、治水に関する歴史や育まれてきた文化を学び、理解の深化や洪水等に対する防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：国土交通省信濃川下流河川事務所
協 力：(一社)北陸地域づくり協会、北陸建設振興会議NPO研究委員会

3. 事業実施概要

1. 開催日時

平成27年10月18日(日) 8:30～16:45

2. 告知方法

- ・「新潟市中央区だより」掲載
- ・新潟市内の各区、資料館・博物館等にチラシ配布
- ・主催団体ホームページ

3. 参加人数

34名(抽選により選定)

4. 行程

信濃川やすらぎ堤ー水上バス(信濃川水門・関屋分水路～鳥屋野潟排水機場)
ー曾川切れ記念碑ー天野の瀬替えー和田切れー酒屋の鮭と川港ーまわり土手
ー横田切れ破堤記念碑ー濃川大河津資料館・可動堰・分水路(タぐれの岡、第二床固、客土の丘等)ー弥彦神社大鳥居ー夏井のはざ木ー鎧淵跡
ー新川・西川立体交差ー宝光院(本堂に残る横田切れ跡)

5. 講師(解説員)

- ・樋口 勲(信濃川大河津資料館友の会)
- ・信濃川下流河川事務所 等

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成17年から継続しており、今回で11回目。定員を上回る申込みがあったが、厳正なる抽選で当選者を決定。当日は天候に恵まれ、参加者は皆熱心に見学し、講師の説明を聞きメモをとる姿も見られた。
越後平野は水との関わり抜きには語れず、本事業は、とかく希薄になりがちな地域の成り立ちや防災への意識を啓発する取り組みとして有効である。今回は初めて水上バスからの巡見も組み込み、信濃川下流の治水の歴史や河川管理施設の役割・効果を学ぶことで、水害の怖さ、河川管理施設の重要性を知ってもらい、防災意識の高揚と河川行政への理解促進につながっている。



水上バス乗船場



横田切れ跡地



信濃川大河津資料館



宝光院